

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.195)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検を実施

当施設では、6月7日(日)から7月5日(日)まで、約1ヶ月をかけて春期定期点検を行いました。この定期点検についてお伝えいたします。

●災害防止協議会の開催

定期点検に先立ち、5月28日(木)に作業を実施する各社の現場監督者等が一堂に会して、「災害防止協議会」を開催しました。この協議会は、定期点検の作業で事故や労働災害を発生させないことを目的に開催しており、PCB廃棄物処理施設特有の作業ルールの徹底と、過去に起きたトラブル事象を例示して、更なる安全対策の実施を確認しました。



今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、各社1名の参加として写真のように席も一つ置きにするなど、3密を防ぐ形式で開催しました。

●定期点検中の安全パトロールの実施

定期点検期間中は、施設内の安全を確認するための安全パトロールを週1回実施しました。

この期間は、通常業務とは異なる点検・工事を行うため、多くの外部作業員が入所します。JESCO、運転会社、工事業者の3者でパトロールを行い、ルール違反や不適切な作業が行われていないか、また整理整頓等が行き届いているかを確認しました。この際にもパトロールを行う人数を限定して、3密にならないように細心の注意を払いました。

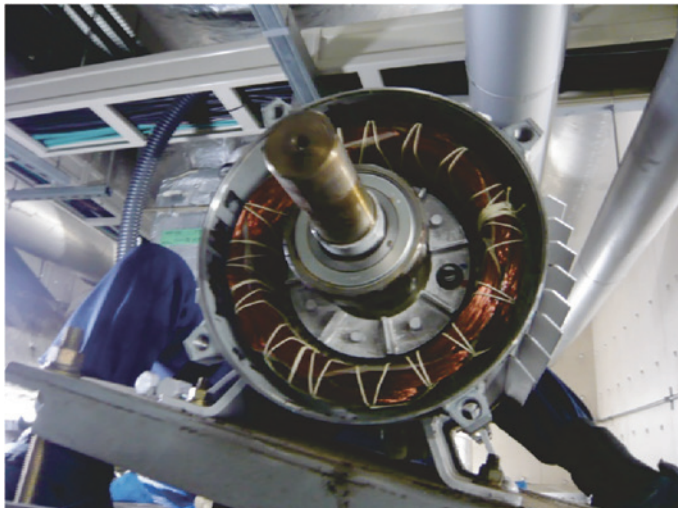
今回の定期点検も、非常に良く管理された状態で実施することができました。なお、良好事例は他の工事場所にも展開し、さらなる安全業務の遂行を図っています。



●実施作業の一例

◆第1系統外調機モーター軸受け交換
外調機とは、外の空気を取り入れ冷気にして作業場所へ供給し作業環境を維持するための重要な役割を担う設備です。

処理施設内には多くの給排気設備が設置されていますが、第1系統の外調機では、経年劣化によりモーターの軸受部に異音が発生したため、モーターを分解して軸受を交換し整備しました。(写真右)



◆真空加熱エリア照明器具更新

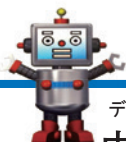
計画的に照明器具の更新を行っています。今回交換する真空加熱エリアは天井が非常に高く、また狭い場所に照明設備が多く設置されているため、管球の交換も大掛かりな工事になっています。

事業終了までに交換の必要がなく、作業が安全に行えるように、寿命の長いLED器具に更新しました。高い場所の照明器具の交換は足場を組んで安全に配慮しながら作業を行いました。(写真左)

◆コンプレッサー室排気ファン交換

給排気設備は、作業場所の環境を維持すると共に、PCBを含んだ空気をエリアの外部に出さないための負圧管理に、重要な役割を担う設備です。

処理施設内には多くの給排気設備が設置されていますが、コンプレッサー室の排気ファンでは、経年劣化によりファン本体が故障したため、ファンを交換しました。(写真右)



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

